

今年もクルーズ船が大洗にやってきました!

2023年10月28日、大洗港区初となる外国クルーズ船「レガッタ」が入港し、大きな話題となりました。地元の太鼓保存会による歓迎演奏、日本文化体験ブースなどで乗客の皆様をお出迎えました。町内の小中学生にも英語ボランティアとして協力していただき、出港時には大洗高校マーチングバンド部による演奏でお見送りしました。

今年も、8月31日に「ナショナルジオグラフィックレゾリューション」が、10月27日に「レガッタ」が寄港します。当日は埠頭を一般開放して歓迎イベントを実施する予定であり、クルーズ船を間近に見るチャンスですので、多くの皆様のご来場をお待ちしております。



↑レガッタ

↓にっぽん丸



撮影：中村風詩人



←岸壁でのおもてなしの様子



←書道体験コーナーの様子

<茨城港大洗港区への主なクルーズ船寄港予定(8月~10月)>

月 日	船 名
8/25 (日)	にっぽん丸 (夏の北海道絶景クルーズ)
8/31 (土)	ナショナルジオグラフィックレゾリューション
9/28 (土)	にっぽん丸 (大洗海上花火大会クルーズ)
9/30 (月)	にっぽん丸 (秋の絶景クルーズ)
10/27 (日)	レガッタ

大洗町イベント情報 (7月~8月)

月 日	主なイベント	場 所
7/20 (土) ~ 8/18 (日)	大洗サンビーチ海水浴場開設期間	大洗サンビーチ
7/27 (土) ~ 7/28 (日)	第34回ビーチバレー in 大洗	大洗サンビーチ
8/21 (水) ~ 8/25 (日)	第28回茨城サーフィンクラシックさわかみ杯	大洗海岸
8/25 (日)	大洗八朔祭	大洗町商店街
8/30 (金) ~ 9/1 (日)	IBARAKI INTERNATIONAL FISHING FESTIVAL in Hitachinaka-Oarai Resort (カジキ釣り国際大会)	大洗港区第4埠頭ほか

←詳細はこちらから!

大洗観光協会公式 HP
<https://www.oarai-info.jp/category/event/>

●問い合わせ先

大洗町観光情報交流センター「うみまちテラス」 029-266-0788
 大洗町商工観光課 029-267-5175

大洗港海の月間通信 2024年号 2024年7月発行

●編集・発行 茨城港湾事務所大洗港区事業所 (大洗港海の月間実行委員会事務局) TEL: 029-267-2700

●協力 茨城海上保安部、茨城県港湾課、大洗町、大洗町漁業協同組合、鹿島埠頭 (株)、関東運輸局茨城運輸支局、(株)茨城ポートオーソリティ大洗支社、(株)商船三井さんふらわあ

※五十音順

●印刷 岩城印刷株式会社

大洗港 海の月間通信 2024年号



写真提供：(株)茨城ポートオーソリティ大洗支社

< CONTENTS >

- 「海の日」と「海の月間」 p.2
- 近年の大洗町の漁業について ~大洗町漁協に聞く~ p.2
- 大洗の海で活躍する船 p.3
- フェリー「さんふらわあ」が運ぶもの p.3
- 今年もクルーズ船が大洗にやってきました! p.4
- 大洗町イベント情報 (7月~8月) p.4



「海の日」と「海の月間」



●海の日（7月第3月曜日）

海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日

四方を海に囲まれた日本にとって、海は古くから物資の輸送や豊かな食を得る場として欠かせない存在であり、私たちは海を利用して産業を興し、近代化を遂げてきました。

美しく豊かな海とその恩恵を次の世代に引き継ぎ、日本が海洋国として末永く発展していくためには、国民一人一人が海への関心と理解を持ち、海と日本の未来について考えることが重要です。

「海の日」を国民の祝日としている国は他に例がなく、四方を海に囲まれ、海と共に文化や歴史を紡いできた日本ならではの祝日といえます。

（国土交通省 HP「海に親しむ」より一部抜粋）

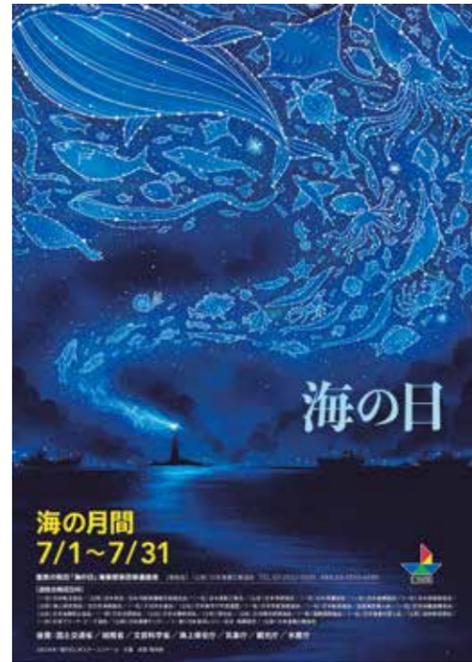
●海の月間

もともと「海の日」は7月20日と定められていましたが、いわゆるハッピーマンデー法により、2003年以降、「海の日」は7月第3月曜日となり、三連休化されました。

「海の月間」は、「海の日」の三連休化を契機に、「海の日」本来の意義が失われることなく、より有効に活用されるよう環境づくりを進めていくこととし、広く国民の皆様へ「海」に対する理解と認識を深めていただくために設けられているものです。

国民の祝日「海の日」を含む、7月1日から31日までの1ヶ月間には、「海フェスタ」をはじめ、全国各地で海に関する様々なイベントが開かれます。

（国土交通省 HP「海に親しむ」より一部抜粋）



↑2024年「海の日」ポスターコンクール大賞作品(吉岡萌衣奈):主催 国民の祝日「海の日」海事関係団体連絡会



近年の大洗町の漁業について ～大洗町漁協に聞く～



●大洗ではどんな魚が水揚げされますか？

水揚げ量第1位はシラスです。最近では、特急列車等を活用し首都圏での生シラスの販売を行い大洗産シラスのPRに力を入れています。ほかには鹿島灘ハマグリなども水揚げされます。

●地球温暖化による漁業への影響は？

海水温の上昇により水温、海流、餌量等に影響を受けることによって、これまで獲れていた魚が獲れなくなる不安があるため、行政と連携して対策していきたいと思えます。

●大洗で水揚げされた魚はどこで買えますか？

毎月第2土曜日に行われている「大洗地魚とれたて市」や町内の鮮魚店で購入できます。また、大洗漁協直営の「かあちゃんのお店」では、生しらす丼などの鮮度抜群な地魚料理が食べられます。

地魚を食べて大洗町を応援しましょう！



↑大洗で水揚げされた新鮮な魚



↑鹿島灘ハマグリ



※開催の詳細については、大洗町漁業協同組HPをご確認ください。
<https://www.jf-oarai.com>



大洗の海で活躍する船



茨城港大洗港区は、大洗町の漁業の拠点であると同時に、首都圏と北海道を結ぶカーフェリーの玄関口でもあります。ここでは、人やモノを運ぶだけでなく、船の往来や海の安全確保のために様々な船が活動しています。

ここでは、そのような船についてご紹介します。大洗の暮らしのすぐそばで日々活躍している船を、少しでも身近に感じていただければ幸いです。



写真提供：(株)商船三井さんふらわあ

【フェリー さんふらわあ】

北海道・苫小牧と大洗を結ぶカーフェリー。2025年でフェリー就航40周年を迎えます。

現在は「さっぽろ」「ふらの」「しれとこ」「だいせつ」の4隻で週12便が運航しており、2025年には既存船に比べCO2の排出量を約35%抑えることが可能なLNGを燃料とする新造船が就航予定です。

【茨城海上保安部巡視船 あかぎ】

「巡視船あかぎ」は、茨城海上保安部所属の巡視船であり、長さ46メートルもある船です。船名は、群馬県にそびえる「赤城山」に由来しており、高速で航行することが可能で、陸上から遠く離れた沖合まで向かうことができる能力を兼ね備えた船です。大洗マリンタワーにほど近い場所に停泊しておりますので、大洗港にお越しの際は是非ご覧ください。



写真提供：茨城海上保安部



写真提供：鹿島埠頭(株)

【タグボート さしろ】

タグボート「さしろ」は、茨城港大洗港区においてのカーフェリー（大洗・苫小牧航路）をはじめ、国内外のクルーズ客船寄港時において、迅速かつ安全な離着岸作業の支援を行っています。

また、茨城県沿岸における海上災害等の防災支援体制に万全を期しています。



フェリー「さんふらわあ」が運ぶもの



苫小牧→大洗
・農産品
・水産品
・紙類

苫小牧↓大洗

苫小牧↑大洗

大洗→苫小牧
・宅配便
・建築部材
・その他

茨城港大洗港区は、首都圏と北海道を結ぶ物流の玄関口です。日々、多くの荷物を積んだトラックがフェリー「さんふらわあ」に乗り降りしていますが、いったいどのようなものが運ばれているのかご存じでしょうか。

ここでは、「さんふらわあ」が運んでいる荷物について簡単にですがご紹介したいと思います。

大洗から苫小牧へは宅配便や建築部材などが、苫小牧から大洗へは農産品や水産品、紙類などが運ばれています。

茨城県港湾統計によれば、2023年には約1,442万トンの荷物が「さんふらわあ」で運ばれました。



↓荷物を積んでさんふらわあに乗り込むトラックの様子



写真提供：(株)商船三井さんふらわあ大洗支店